ラ　フォレ　セ　ラ　ヴィ　―森こそ命―

La Forêt, C'est la Vie !

ブルキナファソのプロジェクト調整員の町と協力関係にある現地 NGO のスタッフ達。
住民たちと共に地域の問題に取り組んでいる彼らは、とても充実した表情をしている。

ブルキナファソの協力団体から

私たち AJPEE（環境畜産保全協会）は、ブルキファソの中央部にあるバム県において活動を行なっている NGO で、「緑のサヘル」とは環境教育と土壌保全の分野で緊密に連携を取り合っています。

環境教育はバム県にある複数の小学校で行なっていますが、この取り組みは環境保護や自然資源の管理、植林に対して関心を持っている多くの児童や教師、保護者たちの励ましになっています。また土壌保全は現在、バム県の 2 村において実施しており、石堤の設置と有用草の植栽によって、土地の肥沃化、土壌の浸食防止、くぼ地の修復などに成果を上げています。

「緑のサヘル」と協力して活動を始めたのは 2007 年のことでした。彼らは活動に対して、とても純粋で積極的な印象を受けました。AJPEE は「緑のサヘル」と住民の間を取り持つ役割を果たしていますが、砂漠化の防止や自然資源の保護、また貧しい人々や農家の生活改善に貢献している、このパートナーにとても満足しています。何故なら、サヘル地域にあるブルキナファソのような国においては、こうした取り組みを率先して行なっていく必要が大いにあるからです。

私たちの願いは、現在進めている取り組みによって、バム県のより多くの小学校や村々が豊かになることです。そして「緑のサヘル」の活動は、未来を担う児童や意欲的な農家にとって大きな支えであり、バム県の人々の永続的な幸せにつながるものであると考えているのです。

AJPEE 代表　ロック・ナゼール・サワドゴ